尾張健康友の会 第45回総会議案

2022年度を振り返って

友の会の活動はコロナ禍で工夫しながら活動しました

総会開催日時
5/13(土)10時より千秋病院市民健康教室

- 公式LINEをつかって友の会ニュース等の情報発信を開始し、108名が利用しています。
- フレイル予防のため食事と運動の視点から、噛む力チェックガムを使っての班会を27回、ポールウォーキング班会９回行いました。
- 新班が3つできました。
  【江南支部：すみれ班（4月）、丹陽地域：みらい班（1月）、岩倉支部：元気あっぷ教室班（3月）】

LINE
▲登録はこちらから

▲すみれ班

▲みらい班

▲元気あっぷ教室班

みんなで楽しく健康づくり

▲サンシュユの会班で健康チェック

- 2022年度の会員は4,991名で入会は105名ありました。
- 新班が3つできました。
- 健康チェック班会はのべ220回おこない、体組成や血圧測定、尿チェック、大腸がん自己チェックなどをおこない、病気の早期発見に努めました。
- 噛む力チェック班会を27回開き、127名がガムを噛んで咀嚼力のチェックをしたり、食事前の準備体操を学びました。
- ポールウォーキング班を9回開き、57名が参加し、ポールの使い方を学んだり、体力向上を図りました。
- 尾西支部は、10/22・23尾西まつりで体力チェックコーナーを開き、2日間で320名が年齢の基準に照らして運動能力を総合チェックしました。

▲かもめ班で視力検査

▲南野本郷班でポールウォーキング

▲尾西支部は尾西まつりで体力チェック

みんなの力で友の会組織を大きくしよう

▲岩倉支部は北島地区を会員訪問

- 救急医療情報「きっとあんしん」キットを岩倉支部が11/12会員訪問で13軒訪問し普及しました。尾西支部と一宮西部支部は「きっとあんしん」キットをひとり暮らしの会員宅へ訪問し、広める活動をしました。
- ニュース配達者は全支部で10名増えました。
- いつでも元気誌は3部増え、読み終わった元気誌は宣伝紙に活用もされています。
- 支部づくりについて丹陽地域の会員のみなさんと話し合いをすすめました。
- 9/11・12全国共同組織活動交流集会にオンラインで延べ30名が参加しました。いなざわ歩こう会班と産直ひろば班の2演題を発表しました。

▲産直ひろば班は千秋病院前野菜市を開催

▲千秋支部のバスハイク

憲法・いのち・平和・地球環境を守る取り組みをすすめよう

▲平和行進で折り鶴進呈

- あいち平和行進の千秋病院集会に100名を超える友の会員・地域のみなさん・職員が参加し、敷地内行進と元小山交差点でスタンディングアピールをしました。
- 憲法を守り、核兵器のない平和な地域を目指して、学習会やスタンディング行動を20回おこない、延べ92名の会員が参加しました。
- まちなみチェックを稲沢支部が、11/10におこない、行政と懇談をしました。
- 地球環境を守る活動として、ゴミの分別や生ごみコンポストなどの工夫した取り組みを友の会ニュースに紹介しました。

▲平和行進尾西コースは尾西庁舎前にてアピール

▲稲沢支部は歩道をまちなみチェック

▲元小山交差点で６・９行動

＜2023年度友の会活動方針＞案　平和で安心して暮らせる社会をめざす友の会活動をすすめよう。

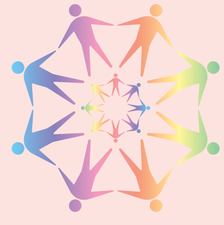
みんなで楽しく健康づくり

- 友人や知り合いを誘って、班会を楽しくしよう。
- 健康チェックを通じ、健康づくりをすすめよう。
- 趣味や特技を活かしたサークルや幅広い世代との交流などで、「心の健康」をすすめよう。
- 電話やSNSを通じ、仲間づくりをすすめよう。

みんなの力で友の会組織を大きくしよう

- 地域・会員訪問で、支え合う仲間を増やそう。
- 友の会ニュース配達者ふやし・いつでも元気誌増やしで、会員とのつながりを強めよう。
- 趣味や要求サークルを通じ、新班を増やそう。
- 友の会活動を継承できる会員を増やそう。
- 支部のない地域で、支部づくりをめざそう。
- 尾張健友会グループの様々な取り組みにも参加し、学び、交流を深め、友の会を発展させよう。

居場所づくり・生きがいづくり・仲間づくりを通じて、〈健康で安心して住み続けられるまちづくり〉をすすめよう。

憲法・平和・くらし・地球環境を守る取り組みをすすめよう

- 戦争につながる軍拡を止めさせ、社会保障を守らせ拡充させる取り組みをすすめよう。
- 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める運動に取り組み、参加する世論をつくろう。
  - 地域住民の生活要求をつかみ、改善するための活動に取り組もう。
  - 地球環境（自然環境と社会環境）を守る活動をすすめよう。